

## ■第 5 回新宿区環境基本計画策定専門部会（平成 24 年 8 月 6 日）議事要旨

検討概要：区民・事業者アンケート結果、新宿区第二次環境基本計画パブリックコメント案についての意見交換

## 1 開会あいさつ

## (1) 開会あいさつ

- ・野村部会長よりあいさつ。

## (2) 出欠席者の確認

- ・事務局より出欠席者の報告を行った。（今回の欠席者：小野委員、犬塚委員、望月委員、工藤委員、田中委員の 5 名）

## 2 議題

## (1) 区民・事業者アンケート結果について

- ・資料 1 を用い、受託業者より説明。

（質疑応答、意見交換）

- ・今、口頭にて説明したことを文書にして、どこかに示してほしい。（部会員）

⇒最終のとりまとめ時に計画書の資料編などに入れるなど、配慮する。（事務局）

- ・アンケートの結果によって、計画の見直しなど、今までの議論に影響したところはあるか。（部会員）

⇒特長的なものについては、計画書の方に傾向や引用を取り入れているが、今まで議論してきたことを大きく変更するような結果ではなかった。（事務局）

- ・想定回収数とあるがどういうことか。（部会員）

⇒想定ではなく、実際の回収数である。表記ミスなので修正する。なお、設問ごとで回答者数が違うのは、無記入分を除いているため。（事務局）

- ・ある程度想定内の結果であったということだが、アンケート結果では、新宿の特長はどう出ていたか。（部会長）

⇒重要度と満足度の設問のところで新宿の特長が出ていると思われる。ごみの減量やリサイクルについては、これまで活発に取り組みが行われてきたことを反映し、満足度も高くなっている。

また、自然についても、都市部にありながらも新宿御苑などの緑地などにより、一定程度の満足度は得られているようである。ただ、生物多様性などに対する取り組みについて、重要ではあると思うが、それをどんどん推し進めていこうというところまでは考えられていないようである。まちの美化については意識が高く、コメントも多い。グリーン経済に関わる話としては、事業者を中心に環境と経済の両立について、一定程度の理解があると解釈できる。また、副都心における地域冷暖房の取り組みなど、新宿ならではの取り組みを求める声も多い。（事務局）

## (2) 新宿区第二次環境基本計画パブリックコメント素案について

- ・資料 2-1、2-2 を用い、概要版の構成及び本編「第 1 章 計画の基本的事項」～「第 3 章 計画の目指すもの」を受託業者より説明。

（質疑応答、意見交換）

- ・目次のところに、横断的な取り組みで進めていくというようなイメージが伝わるものが入ると良い。(部会員)
- ・国のトレンドや全国的な課題を示しているが、新宿区としてはどうかということがわかるような工夫をしてほしい。(部会員)  
⇒表現については検討する。(事務局)
- ・再生可能エネルギーに関する取り組みのところで、個人での取り組みは難しいが、どこかで協力はしたいと思っている人もいると思うので、例えば、国立競技場の屋根に太陽光パネルを設置する際に寄付をすとか、新宿の森などの連携都市で創出されるエネルギーを購入すとか、何らかの仕組みが出来ると良い。(部会員)  
⇒具体的な内容は書けないかもしれないが、再生可能エネルギーの可能性として、区民参加の方向性を示すことは可能である。(事務局)
- ・目指すべき環境像について3案提案されているが、3つともそれぞれあてはまると思う。B案の持続可能の下にA案の言葉(安全安心な環境と心の豊かさが実現されたまち)を入れても良い。(部会員)
- ・世界に誇るといった場合には、新興国の環境問題を解決するモデルとなるような計画であるべき。その時には、都や国との連携も大事になってくる。(部会員)
- ・「新宿力」の定義は。(部会員)  
⇒区の基本構想で定義された言葉で、定義については2ページの欄外に注釈として入れてある。(事務局)
- ・24ページのイメージだと「参加と協働の促進」「環境と経済の両輪推進」の2つに序列があるようなイメージを受けるが、この2つに序列はあるのか。(部会員)
- ・13ページの国の第四次環境基本計画のイメージ図では、3つの横軸について、序列をつけて表現している。(部会員)  
⇒特に2つの項目に序列をつけることは考えていない。この2つは計画を進めていく上での土台となる部分であり、同列として考える。イメージ図の表現については再考する。(事務局)
- ・「環境と経済の両輪推進」は新技術などのハードで、「参加と協働の促進」はソフトというイメージがあるが。(部会員)  
⇒「環境と経済の両輪推進」にはハードだけでなく、消費者の環境配慮といったソフトも含まれると思う。(部会員)  
⇒「環境と経済の両輪推進」は環境への取り組みの結果に対して求めたい効果であり、「参加と協働の促進」は手段全般を指していると考えている。(部会長)
- ・丸ゴシックの方が読みやすく良いと思う。(部会員)

- ・資料2-2を用い、本編「第4章 重点的な取り組み」～「第6章 推進体制と進行管理」を受託業者より説明。

(質疑応答、意見交換)

- ・足立区では砂場の放射能測定を行い、結果を受けて砂の入れ替えなどを行った。厚木市でも深刻な問題になっている。3-2②の区の施策のところで、測定器の貸し出しを行うということになっているが、それだけでいいのか。(部会員)  
⇒区として砂場や給食材料などの放射能測定を行ったが、そこまであまり高い値はでなかった。

だからといって、その後何もやっていないというわけではなく、週 1 回の定点観測は継続的に  
行っており、区のHPに結果も公表している。(事務局)

- ・有害化学物質について、アスベストの問題もあるが、VOCなど新たな有害物質についてはどう  
対処するのか。(部会員)

⇒計画に書いていなくても、新たな有害物質が発生した際には速やかに対応する。(事務局)

- ・悪臭問題については、ビルピットのことを指していると思うが、公衆トイレなどからの悪臭対策  
もする必要がある。(部会員)

⇒悪臭問題の所管課である生活環境課には伝えておくが、基本計画の担当課として状況をしっかり  
把握しながらやっていきたい。(事務局)

- ・A3判の施策一覧に書かれている文言はどのような形で計画書に盛り込まれるのか。(部会員)

⇒A3判に書かれている文言は、基本的にはそのまま計画書に記載するが、内容については現在  
所管課と調整中であり、最終形でない。(事務局)

- ・例えば3-2①の区の取り組みのところで、VOCなどは①-1にも入ってくるものだと思うが、そ  
こには記載がなく、①-3では具体的に入っているというように、総体的に書いてあるところと細  
かく書いてあるところがあり、全体的にレベル感を統一した方が良い。(部会員)

⇒施策や取り組みにおける記載内容のレベル感については、なるべく統一するような表現で検討  
していきたいと思う。(事務局)

- ・3章と5章の流れは分かるが、4章に重点的な取り組みが組み込まれており、何に対しての重点な  
のか位置付けが少し分かりにくい。(部会員)

⇒重点的な取り組みは、22ページの3つの計画策定の視点も視野に入れているし、5章の個別の  
取り組みも視野に入れているため、4章に組みこんだが、流れが分かりやすくなるような構成を  
再度検討する。(事務局)

- ・大項目である1章と中項目である1章の2が同じ表現になっているが良いか。(部会員)

⇒表現を再検討する。(事務局)

- ・4ページ3行目の「新宿区基本計画」とは、「新宿区総合計画」の誤りではないか。(部会員)

⇒修正する。(事務局)

- ・重点的な取り組みの1番目について、ここに書かれていること以外として、この10年の取り組み  
の中でエコリーダー養成講座修了生などの環境リーダー的な人たちが自主的に動こうとするなど、  
新しい動きがみられるが、それらについても取り上げてみてはどうか。(部会員)

⇒エコリーダーだけでなく、エコライフ推進員なども積極的な動きを見せはじめている。環境リ  
ーダーの活動的なものについては盛り込んでいきたい。(事務局)

- ・「新宿エコ隊」についても、いろいろな活動をしている人がおり、全体を包含する表現として、実  
践行動の見える化や定量化、活動の広さや広がりを示すものを盛り込むと良い。(部会員)

⇒取り組みの内容や表現については再考する。(事務局)

- ・新宿型の創エネは良いが、新宿型スマートコミュニティといった時に、取り組みがスマートメー  
ターをつけますだけではあまりよろしくない。もう少し工夫が必要である。(部会員)

- ・スマートコミュニティのイメージを区としてどうしていくかが大事であり、今の内容では装置に  
依存しすぎて、もう少し新たな発想が必要である。地熱とか地域冷暖房とか、知恵や提案をどん  
どん呼び込む必要があるし、それらに区民や事業者が参加できる仕組みを考えていく必要もある。  
また、グリーンエネルギーの購入とか基金の設立など、区外との連携も必要である。(部会長)

- ・世界に誇るという視点は大事であり、これらの計画が実行されれば、国内、海外を問わずどこか  
の見本となるような計画としたい。その時に注意したい点として、計画書内に造語（例えば、エ  
コビルは造語、一般的にはグリーンビルディング）が目立つため、区のオリジナルな取り組みに  
対するネーミングなのか、世間一般的に行われている取り組みなのかを整理しないと他では通用  
しないものになる。（部会長）
- ・区民の1割は外国人なので、計画の英訳版もほしい。（部会員）  
⇒英訳版は現状では想定していない。仮に英訳版を作るとしたら、その他の言語版も必要になり、  
予算的には厳しいものとなる。（事務局）
- ・他の計画書との兼ね合いもあるが、概要版だけでも多言語版ができないか。（部会員）  
⇒多言語版については、HPの自動翻訳機能などもあると思うので、そちらも確認しながら、一  
度検討する。（事務局）
- ・予定の時間もせまってきたので、その他、気付いた点などあれば、後日事務局の方へ連絡してほ  
しい。（部会長）

### (3) その他について

- ・事務局より今後の予定を説明した。
- ・8/20に審議会を開催し、その後、庁内の会議等を経て、パブコメ素案を作成。
- ・10/5から1ヶ月間パブコメを行い、途中区民説明会を3回（10/12PM・筆筒、夜・戸塚、10  
/13PM・四谷）行う予定。
- ・次回専門部会はパブリックコメント後の11月に開催予定

以上